



## 賞与の銀行振込について

2020年、冬季賞与より、銀行振込に変わります。

### 24秒に1人死亡事故

4秒に1人、交通事故での死者が発生していると聞くと、「え、そんなに多いの」と思われるかもしれませんが事実です。世界中で、交通事故は今も続々と起こっています。日本では近年、事故死者数が減少傾向にはありますが、世界に目を向けるとWHO（世界保健機関）の報告では交通事故死は増加傾向にあり、年間135万人もの人が交通事故で亡くなっていますので、24秒に1人が死亡している計算になります。依然として交通事故被害は世界全体の大きな社会問題です。ちなみに11月の第3日曜日である15日は「世界交通事故被害者追悼の日」でした（※）。2005年10月26日の国連総会決議で毎年11月第3日曜日と定められ、世界各地でこの日を期して交通事故防止活動や道路環境公害への対策を講じるための活動を推進する行事が行われました。日本は自動車輸出大国であり、世界の交通事故増加は決して他人事ではありません。私達も改めて交通事故の防止を誓いたいと思います。

### 暦 凍結注意！！

のうえではとうに「立冬」を過ぎて、一段と寒さが増してきており、北国では雪がちらちらと降る季節となりました。こうした本格的に雪が降る前の時期に気をつけたいのは、路面凍結によるスリップ事故です。

去る11月4日午前6時5分ごろ、北海道江別市の国道の橋の上を走行していた大型トレーラーが、凍結した路面でスリップして中央分離帯のガードレールを突き破って反対車線にはみ出して計9台が衝突するな事故がありました。事故の現場は片側2車線の緩やかなカーブになっており、路面に雪がありませんでした。雪がないと、ついつい油断しますが、早朝や夜間は気温が下がって路面が凍結することがあります。とくに、この事例のように橋の上や高架部分、トンネルの出入り口付近は凍結しやすく、夜間は気づきにくくなりますので注意しなければなりません。早朝や夜間走行するときには、雪が降っていなくても路面が凍結していることがありますので、急ブレーキや急ハンドルなど「急」のつく運転をせず、スピードを落として運転してください。

### 警告 昼間の飲酒運転の割合が増加

警察庁の分析によると、近年飲酒運転による死亡事故は減っているものの、昼間に飲酒運転をする割合が増えていることがわかりました。出来心による飲酒運転全体は減少するなかで、昼間からビールを飲むなどお酒をやめられないアルコール依存症の患者による事故は減らないため、昼間の飲酒運転割合が増加していると推測されます。さらに最近リモート勤務が定着して昼間から家飲みをする人も増えたと考えられます。アルコール依存症の人に「依存症で飲酒をコントロールできていないのでは」と指摘しても、自分はそんなことはないとは否定します。病気なのに自分が病気だと自覚できずにいるところに落とし穴があります。多量に飲酒する習慣の人を知っていたら、ぜひ、病気ではないかという視点で寄り添い、事故を起こす前に治療できるよう援助することを心がけてください。